

## 2) ハザードマップ「おきなわマリンセーフティマップ」 【継続・更新】

沖縄県内の水難事故は監視員等のいない海浜における事故がほとんどであるため、各海浜の危険情報や過去の事故情報が把握できることを目的として、「おきなわマリンセーフティマップ」を令和4年度の本業務にて作成した。

「おきなわマリンセーフティマップ」では、沖縄県内の海浜396か所について、事故の未然防止につながる情報（危険情報、過去の事故情報、ヒヤリハット情報、天候情報）および海浜の基本情報（名称、概要、監視員等のいる場合は営業時間、駐車場の有無等の施設情報）を整理し、マップ形式にて発信している。

「おきなわマリンセーフティポータル」内に導線が設置されているほか、紙媒体のツール等にQRコードにて導線が設置されている。

掲載などの詳細については、「おきなわマリンセーフティマップの改善」にて記載している。

表 7 ハザードマップ「おきなわマリンセーフティマップ」

目的	・沖縄県内のビーチの危険性・気象情報や過去の事故情報、ヒヤリハット等の安全に楽しむための情報のほか、駐車場やビーチの概要等の基本情報をビーチごとに掲載している。
周知方法	・WEB広告やリーフレット、ポスターに設置した導線により流入。
形式	・WEBサイト
多言語言語	・英語、韓国語、繁体字、簡体字に対応している。 ※繁体字、韓国語は今年度事業にて作成した。
表示回数	・10.0万回
実施時期	・令和6年4月より閲覧可能
主な掲載内容 及び情報元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチ毎の危険情報           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒県内396か所のビーチを網羅</li> <li>⇒海水浴場は網羅、自然海岸は過年度調査にて整理</li> </ul> </li> <li>・過去の水難事故情報           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒沖縄県警察より提供の水難事故統計値を活用</li> </ul> </li> <li>・ヒヤリハット情報           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒マリンレジャー事業者へのアンケート調査より活用</li> </ul> </li> <li>・ビーチ毎の気象情報（風、潮汐、波高）           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒Windyを通じて、米国国立環境予測センター（NCEP）よりGFS（Global Forecast System）を活用</li> </ul> </li> <li>・ビーチ毎の基本情報           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒沖縄観光情報オープンデータ（OTTOP提供）より活用</li> <li>⇒県内396か所のビーチを網羅</li> </ul> </li> </ul>

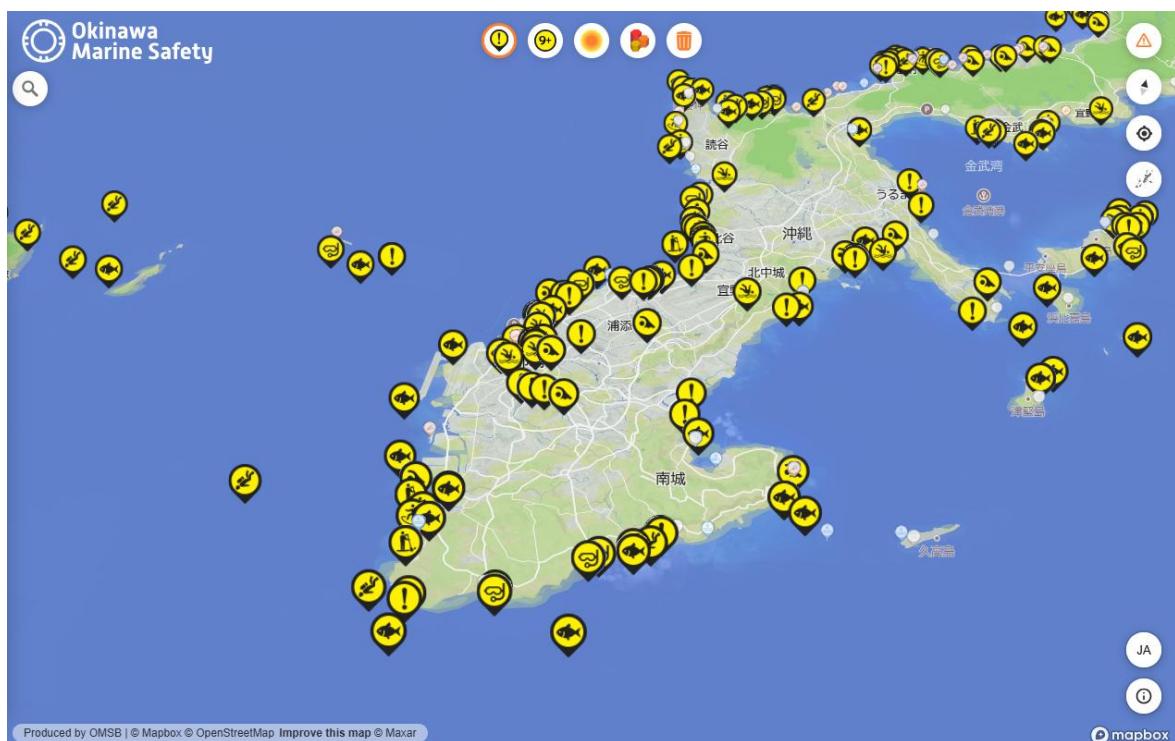


図 23 「おきなわマリンセーフティマップ」の操作画面



指定海水浴場



自然ビーチ

自然ビーチ  
(情報未収集)

マップ内のビーチのアイコンをクリックすると、波や風、潮のリアルタイム情報を見ることができます。危険が潜むビーチの注意情報や、駐車場やシャワーなどの施設情報を見ることもできますので、海で遊ぶ前には必ずチェックしてください。

The screenshot shows the app's main screen for Toyosaki Beach. It includes a header with location information, a top navigation bar with tabs for 'Case' and 'About the Beach', and a bottom navigation bar with icons for waves, wind, and a warning sign.

- Top Navigation:** 'Case' tab is selected.
- Beach Information:** Shows icons for waves, wind, and a warning sign.
- Text:** '潮流は比較的弱いですが、北寄りの風による波や離岸流には注意が必要です。' (The current is relatively weak, but be aware of waves and rip currents caused by northerly winds.)
- Real-time Information:** Includes a chart for 'Wave Height/Wind Force' and a table for 'Tide' (潮汐).
- Accident Information:** Buttons for 'View detailed weather information around the area' (周辺の詳細な気象情報を見る), 'Nearby accident count' (近隣の事故件数), and 'Nearby lifeguard stations' (近隣のヒヤリハット).
- Business Survey:** Buttons for 'Business survey and investigation results' (事業者アンケートや調査で蓄積された) and 'Nearby lifeguard station information' (近隣のヒヤリハット情報).
- Right Panel (Legend):** A legend mapping icons to beach conditions:
  - Yellow swimmer icon: Lifeguard present (離岸流がある)
  - Yellow swimmer icon with a lightning bolt: Severe water depth changes (水深の急激な変化がある)
  - Yellow wave icon: High waves (高波の発生)
  - Yellow octopus icon: Danger from marine life (危険生物との遭遇)
  - Yellow sunken ship icon: Danger from underwater objects (海底に危険物がある (モズク漁・突起物等))
  - Yellow person walking icon: Poor footpath (足場が悪い)
  - Yellow person running icon with a star: Contact with surfers or boats (サーファーやボート等との接触の恐れがある)
  - Yellow exclamation mark icon: Other dangers (その他の危険性)
- Bottom Right Corner:** A summary box for Toyosaki Beach with icons for waves, wind, tide, and a warning sign, followed by the date and time (2022年12月5日 9:54).

図 24 「おきなわマリンセーフティマップ」の使い方

### 3) 特設クイズサイト「クイズに答えて沖縄の海を安全に楽しもう」【継続・更新】

令和5年度までの周知やポータルサイトの実績から観光客は海を安全に楽しむための情報を積極的に取得しない傾向にあることを確認した。このため、令和6年度業務では、抽選を伴うクイズキャンペーンを開催した。クイズサイトでは、本クイズに答えて、沖縄の海を安全に楽しむことを目的として作成した。

表 8 特設クイズサイトの概要

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客が沖縄の海の安全について主体的に学ぶことを目的としてクイズ形式にて特設サイトを作成した。</li> <li>また、回答促進のため、抽選を実施した。</li> </ul>
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>WEB広告やリーフレット、ポスターに設置した導線により流入。</li> </ul>
形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>WEBサイト</li> </ul>
対応言語	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語のみ対応。</li> </ul>
回答者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>8,044名回答</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年5月より実施（回答は令和7年3月31日まで）</li> </ul>
主な設問内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本属性、沖縄および海への旅行の予定</li> <li>自然海岸における事故の発生割合</li> <li>離岸流の回避の方法</li> <li>もしもの時の緊急連絡先</li> <li>事故の多いレジャーの種類</li> <li>海の死亡事故のうち50代以上が占める割合など</li> </ul> <p>※属性ごとに設問を変更した。</p>



図 25 クイズサイトの操作画面

#### 4) LINE アプリ「おきなわマリンセーフティ」 【継続・更新】

LINE を通じて現在位置情報の発信により各ビーチの事故情報を取得することができるツールであり、令和 5 年度事業にて構築した。「おきなわマリンセーフティマップ」や「おきなわマリンセーフティポータル」への導線についても設置されている。

表 9 LINE アプリ「おきなわマリンセーフティ」

目的	・現在位置情報の発信により各ビーチの事故情報を取得することのできるツールであり、令和 5 年度事業にて構築した。
周知方法	・WEB 広告やリーフレット、ポスターに設置した導線により流入。
形式	・LINE 内アプリケーション
対応言語	・日本語のみ対応。
回数者数	・約 1,000 名の登録（上下するため）
実施時期	・過年度より継続 令和 6 年 4 月より
主な内容	・現在地からビーチ情報を取得 ・ハザードマップへの導線 ・ポータルサイトへの導線 ・近くのヒヤリハット検索



図 26 公式 LINE アプリの操作画面

## 5) Instagram「公式 沖縄ライフセービング協会」 【新規】

沖縄ライフセービング協会が運営する公式 Instagram である。日々の巡回中にて確認した気象や海況の状況をストーリー等にて報告するとともに、海を安全に楽しむためのノウハウや危険生物等を報告している。

表 10 Instagram「公式 沖縄ライフセービング協会」

目的	・観光客に対し、日々の巡回にて確認した気象や海況の様子の発信や海を安全に楽しむためのノウハウを発信している。
周知方法	・投稿発信
形式	・Instagram
対応言語	・日本語、英語にて発信
閲覧回数	・のべ 700,313 回
リーチ数	・のべ 166,341 アカウント
投稿数	・128 投稿
実施時期	・過年度より継続 令和 6 年 4 月より
主な内容	・毎日の気象、海象や危険生物の発生状況 ・沖縄の海を安全に楽しむためのノウハウ など



図 27 沖縄ライフセービング協会の Instagram アカウント

## 6) 動画「美ら海あんぜんマルバツクイ ZOO」 【新規】

前述のクイズをもとに動画「美ら海あんぜんマルバツクイ ZOO」を作成した。親しみやすいキャラクターとして、動物等のイラストをあしらい作成した。

主に沖縄や県内離島に移動中のフライト機内にて放映を行った。

表 11 動画「美ら海あんぜんマルバツクイ ZOO」

目的	・幅広い方々を対象として、クイズ形式にて海の安全を知ってもらうために動画を制作した。
周知方法	・主には飛行機内における放映 ・SNS 広告にて放映 ・その他、関係者による Youtube 掲載
形式	・動画
対応言語	・日本語、英語字幕
放映座席	・20万座席 (JTA 提供座席数)
実施時期	・令和6年8月～10月
主な内容	・ライフジャケットの着用 ・スノーケリングの危険性 ・加齢のリスク ・自然海岸のリスク など



図 28 動画の様子

## 7) ポスター 【継続・更新】

空港や港湾、ホテル等での観光関連施設にて掲載することを目的として作成した。サイズは施設の状況にあわせて A2 から A1 サイズにて作成した。多言語として日本語、英語、繁体字、韓国語にて作成した。

表 12 ポスターの概要

目的	・空港や観光施設等にて、通過・滞留する方に対して最低限の海の安全に関する心得を習得してもらうために制作した。
設置場所	・県内主要空港や港湾施設、ホテル等に設置を依頼した。
サイズ・仕様	・A1 サイズもしくは A2 サイズ ※施設毎に調整
多言語言語	・英語、韓国語、繁体字に対応している。 ※繁体字、韓国語は今年度事業にて作成した。
配布枚数	・約 90 部設置
配布依頼箇所数	・約 67 か所設置
実施時期	・令和 6 年 6 月より順次設置を依頼
主な掲載内容	※数パターン作成・設置しているが主に以下の内容を掲載  ・沖縄の海を安全に楽しむための心得 1 : ライフジャケットの着用 2 : 体調不良の際は海に入るのを控える 3 : 海水浴場やマリンレジャー事業者を利用して楽しむ ・各種ツール「おきなわマリンセーフティポータル」、「おきなわマリンセーフティマップ」への導線、クイズキャンペーンへの導線を設置

# 沖縄の海を 安全に楽しむ ために

心得  
01



ライフジャケットを着用  
しよう！

心得  
02



体調不良の際は、  
海に入るのを控えましょう！

心得  
03



海水浴場やマリンレジャー  
事業者を利用して楽しもう！

マル優事業者  
を利用しよう！



マル優事業者は、安全対策基準に適合しているとして  
沖縄県公安委員会から指定された事業者です。

## あほれた人を見かけたときの対処法

あほれている人を見かけたら、近くにいる監視員やライフセーバー、まわりの人などに助けを求めてください。また、緊急連絡先に電話をかけて救助を要請しましょう。

- 海上保安庁 118  
緊急通報専用電話
- 警察署 110
- 消防署(救急車) 119
- 離島や奥州市に陸がいを持つ方のための緊急通報サービス  
NET 118

## 危険な場所をチェック

### あきなわマリンセーフティマップ



沖縄県のビーチごとの危険情報  
や過去の水難事故の情報を提供  
しています。安全な  
ビーチの選定や  
注意事項の確認に  
お役立てください。

## 海を安全に楽しむための情報サイト

### あきなわマリンセーフティポータル



沖縄の海を安全に楽しむための  
心得やレジャーごとの被認事項、  
もしものときの対応などを詳しくまとめています。



本取組全般に関することはマリンレジャー事故防止調査対策事業実施事務局  
(株式会社オリエンタルコンサルタンツ) [gki\\_mis@orientaljapan.com](mailto:gki_mis@orientaljapan.com)までお問合せください。

図 29 ポスター日本語

# How to Enjoy Okinawa's Ocean Safely

Tip  
01



**Wear a Life Jacket!**

Tip  
02



**Avoid entering the water if you feel unwell!**

Tip  
03



**Use designated beaches and marine leisure services!**

**Use Certified Operators!**



Certified Operators meet safety standards and are designated by the Okinawa Public Safety Commission.

## What to Do If You See Someone Drowning



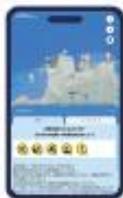
If you see someone drowning, seek help from nearby lifeguards, safety personnel, or others around you. Also, call emergency services to request rescue assistance.

- Japan Coast Guard (Rescue) **TEL 118**
- Police **TEL 110**
- Fire Department (Ambulance) **TEL 119**
- An Emergency Reporting Service for Individuals with Hearing or Speech Impairments **NET 118** [Search](#)

## Check Hazardous Areas

### Okinawa Marine Safety Map

The Okinawa Marine Safety Map provides information on hazards and past water accidents for each beach in Okinawa. Use the map to choose safe beaches and review safety tips.



## Safety Information Site for Enjoying the Ocean

### Okinawa Marine Safety Portal

The site contains essential tips for ocean safety, activity-specific safety guidelines, and detailed emergency response information.



For general inquiries about this initiative, please contact the Marine Leisure Accident Prevention Office (Oriental Consultants Co., Ltd.) at [ok\\_msa@oriental.com](mailto:ok_msa@oriental.com).

図 30 ポスター英語

# 安全享受 沖繩的 水上活動

- 注意事項 01  請穿著救生衣！
- 注意事項 02  如果您感到身體不適，  
請勿從事水上活動！
- 注意事項 03  遊玩時請選擇海水浴場和  
水上休閒活動業者！
- 請選擇優良業者！  優良業者是由沖繩縣公安委員會認可符合  
安全對策標準的業者。

## 發現有人溺水時的處理方法

如果您發現有人溺水，  
請向附近的管理員、  
救生員或身邊的人員尋  
求協助，或撥打緊急  
聯絡電話請求救援。

- 日本海上保安廳 Tel 118
- 警察署 Tel 110
- 消防署 (098) Tel 119
- 沖繩縣公共安全委員會救難諮詢  
緊急服務電話  
Tel 118

## 確認危險的場所

### 沖繩海域安全地圖



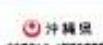
提供沖繩縣各個海灘的危險資訊  
和過去發生水難事件的資訊。  
請選擇本資訊選擇  
安全的海灘和監督  
注意事項。

## 提供安全享受水上活動之資訊網站

### 沖繩海域安全八口網站



本網站詳細列出安全享受沖繩水  
上活動的注意事項、海灘休閒活  
動的注意事項及萬  
一發生狀況的處  
理方法等。



有關本海灘的詳細內容、該地點水上休閒導遊點的諮詢窗口與相關資訊請參見  
(Okinawa Consultants Co., Ltd. [www.occonline.com](http://www.occonline.com))。

図 31 ポスター繁体語

# 오키나와 바다를 안전하게 즐기기 위해서

주의사항  
01

주의사항  
02

주의사항  
03

구명조끼를 착용하자!

몸이 안좋을 때는  
바다에 들어가지 않도록 하자!

해수욕장이나 수상레저  
사업자를 이용해서 즐기자!

마루유 사업자를  
이용하자!

마루유 사업자는 안전대책기준에 적합하다고  
오키나와현 공안위원회가 지정한 사업자입니다.

## 물에 빠진 사람을 발견했을 때의 대처법

물에 빠진 사람을 보면  
근처에 있는 카시원이나  
라이드 세이버, 주위 사람  
들에게 도움을 요청해  
주세요.  
또, 긴급전화기에 전화를  
걸어 구조를 요청해  
주세요.

- 해상보안청 ☎ 118  
긴급신고총선과
- 경찰서 ☎ 110
- 소방서(구화재) ☎ 119
- 정부나 민관에 믿어야 하는 것을 보면  
긴급신고 ☎ 118
- NET 118 ☎ 접수

## 위험한 장소 체크

### 오키나와 마린 세이프티 팁



오키나와의 해변별 위험  
정보와 패거 주난사고  
정보를 제공하고  
있습니다.  
안전한 해변 선정  
및 주의사항  
확인에 활용해  
주세요.

## 바다를 안전하게 즐기기 위한 정보 사이트

### 오키나와 마린 세이프티 포털



오키나와의 바다를 안전하게  
즐기기 위한 주의사항 및  
지침을 확인하고,  
안전의 강령에  
대한 내용 등이  
자세하게 정리  
되어 있습니다.



이 대처 방법은 경험 사람의 개인적인 사고방지对策입니다. 실시시작  
(주식회사 소리엔터 캠페인포 oki\_re@oceanonline.com)으로 문의해 주세요.

図 32 ポスター韓国語

## 8) リーフレット 【継続・更新】

ライフガードによる海浜における巡回講習時の使用や観光施設等にて配布することを目的として作成した。A4 サイズで 3 つ折りにて作成した。

今年度事業では、基本的な情報は昨年度までと同様として、一部の情報更新やクイズやアンケート導線の設置を行った。

また、今年度事業にて、事故が急増していた韓国人観光客に対して、韓国語の翻訳を行った。

表 13 リーフレットの概要

目的	・観光客が手に取りやすく本リーフレットにて、一定程度の海を安全に楽しむためのノウハウが把握できることを目的として制作した。
配布場所・配布方法	・ライフガードによる海浜巡回時に手渡しにて配布 ・飛行機機内（今年度は JTA）、空港・港湾等の観光案内所等のリーフレットラック、レンタカー・ホテル、マリンショップ等の観光客のタッチポイントに配架を依頼。
サイズ・仕様	・A4 サイズ 3 つ折り ※リーフレットラック設置可能サイズ
多言語言語	・英語、韓国語、繁体字に対応している。 ※繁体字、韓国語は今年度事業にて作成した。
配布枚数	・約 13 万部配布・配架
配布依頼箇所数	・約 80 か所設置 (ライト 1 か所、空港・港湾 3 か所、ホテル 48 か所、 レンタカー 43 か所、マリンショップ 5 か所、 その他 3 か所、イベント配布 2 回)
実施時期	・令和 6 年 4 月下旬より順次配布。
主な掲載内容	・海で遊ぶ前に確認しておきたいこと（3 つの心得） ・マル優事業者について ・マリンレジャーのアクティビティ別（5 つ）の心得 ⇒海水浴、スノーケリング、カヌー、サーフィン、SUP (ダイビングは事業者を伴うため本紙面では割愛) ・風、波、天気・天候のチェック ⇒「おきなわマリンセーフティポータル」や 「おきなわマリンセーフティマップ」への導線（QR）を設置。 ・もしもの時は ⇒118 番や 110 番、119 番の記載 ・海の事故から命を守るための 3 つのポイント ・クイズキャンペーンへの導線 ・ライフガードの巡回講習に関するアンケートへの導線

**海で遊ぶ前に確認しておきたいこと**

安全に海遊びするためには、事前の情報収集が大切です。海水浴場で泳ぐ場合は、事前に自治体のホームページ等で公開されている海水浴場の最新情報を確認しておきましょう。

**風**  
風向きや風の強さ（風速）、突風が吹いてくる危険がないかなどを確認します。

**波**  
波の高さ（沿岸波浪）や潮汐（潮の満ち干、満潮や干潮の時間）などを確認します。

**天気・気温**  
天気、気温、降水確率などを確認します。台風が近づいている場合は、台風の位置情報などもチェック。

沖縄は本州よりも台風の接近が多く、大きな被害をもたらすこともあります。台風が進撃している場合は、どちらでも危険があることを知っておきましょう。

**危険な場所をチェック**

**おきなわマリンセーフティマップ**

沖縄県のビーチごとの危険情報や過去の水難事故等の情報を提供しています。安全なビーチの選定や注意事項の確認に役立ててください。

QRコード

**海で安全に楽しむための詳しい情報サイト**

**おきなわマリンセーフティポータル**

沖縄の海を安全に楽しむための心得やレジャーごとの確認事項、もしものときの対応などを詳しくまとめています。

QRコード

**もしもの時は**

**おぼれた人を見かけたときの対処法**

おぼれている人を見かけたら、近くにいる監視員やライフセーバー、まわりの人などに助けを求めてください。また、緊急連絡先に電話をかけて、救助を依頼しましょう。

- 海上保安庁 緊急通報用電話 TEL 118
- 警察署 TEL 110
- 消防署（救急車） TEL 119

**海の事故から命を守る3つのポイント**

**Point 01**  
マリンレジャーを楽しむ際は、ライフジャケットを常時着用する

**Point 02**  
防水バック入り携帯電話など、連絡手段を確保しておく

**Point 03**  
118番・NET118を活用する

海の事件・事故の緊急通報用電話「118番」や、睡覚や発話に障害がある方向けの緊急通報サービス「NET118」で海上保安庁に連絡しましょう。

**海の安全向上施策に関するアンケートのお願い**

沖縄県が実施しているライフセーバー等による巡回形式の講習会にご参加いただけた方にご協力をお願いします。  
調査所要時間：1分ほど

**知って安心・安全！沖縄の海のこと**

沖縄県公式 **おきなわ海の事故ゼロキャンペーン！**

**クイズに答えて！** 沖縄の海を安全に楽しもう  
100名様に沖縄特産品をプレゼント！

Okinawa Marine Safety

図 33 リーフレット日本語 表面

**海で遊ぶ前に確認しておきたいこと**

**心棒01**  
海水浴を楽しみたい方は、監視員のいる海水浴場を優先的に利用しましょう！  
監視員のいないビーチは、標識や危険な生物と遭遇するリスクがあります。クラゲ等が残されている監視員のいる海水浴場を利用しましょう。

**心棒02**  
危険なものの触り、海に入る前の確認をしましょう！  
少しでも危険を感じるときは、すぐに止めるは抑え、海水浴衣や浮き輪ををしてのんびり楽しめましょう。

**心棒03**  
マリンレジャーを楽しむ際は、マリンレジャー事業者を利用しましょう。  
沖縄県で安全にマリンレジャーを楽しむためには、安心対策等ガイド会に加入しているマルチ事業者がおすすめです。

**マルチ事業者**

「マルチ事業者」は、安全対策基準が導かれていたと認めたマリンレジャー事業者を認定する制度です。この認定書を持つ事業者を選びましょう。

**マリンレジャーの心得**

沖縄の海や海水浴、スノーケリング、カヌー、サーフィン、SUPなどを楽しむ際に心がけておきたいこと、どんな準備をしておくといいかを紹介します。

**海水浴の心得**

海水浴場以外の場所で、ない危険ビーチでの海水浴や、監視が堅苦しいところの海水浴場事故が発生しています。

- ✓ 管理された海水浴場で泳ぐ
- ✓ 監視者は常に子どもから目を離さないようにする
- ✓ 海水浴をする際は、波踏みしない
- ✓ 波が高い日や夕暮れの強い日は泳がない

**スノーケリングの心得**

基本的なスキルができるまでに、泳ぎの事例などで教えてもらいます。ライフジacketは必ず着用するようにしましょう。

- ✓ 「4点セッティング」必ず使用する（マスク、フィン、スノーダム、ライフジacket）
- ✓ 基本的な器材の使い方を理解しておけ
- ✓ スノーケリング事業者を利用して楽しむ
- ✓ 単独行動はしない

**SUPの心得（スタンドアップパドルボード）**

波は特に風の影響を受けやすく、強い風で吹されてしまい、倒れなくなる事例が多く見られています。

- ✓ 波浪・潮流を事前に確認しておく（波峰に風の強さや向きに要注意）
- ✓ ピヨターはスクールで教習を基本技術を身に付ける
- ✓ 古い一人で乗って海上で船尾を運転手段を確保する
- ✓ 基本での行動は控え、仲間で行動する

図 34 リーフレット日本語 中面

**Things to Check Before Playing at the Beach**

To enjoy the beach safely, it is important to gather information beforehand. If you are planning to swim at a designated swimming area, be sure to check the latest information available on the local government's website.

**Wind**  
Check the wind direction, wind strength (wind speed), and ensure there is no danger of sudden gusts.

**Waves**  
Check the wave height (coastal waves) and tide (high and low tides), including the times of high and low tides.

**Weather and Temperature**  
Check the weather, temperature, and chance of precipitation. If a typhoon is approaching, monitor the typhoon's location as well.

Okinawa experiences more typhoons than mainland Japan and can suffer significant damage. Be aware that there is danger not only during a typhoon's direct hit but also before and after it.

**Check Dangerous Areas: Okinawa Marine Safety Map**  
This map offers detailed information on hazards and potential accidents for each beach in Okinawa. Use this map to choose safe beaches and practice important safety precautions!

**Detailed Information Site for Safe Enjoyment at the Beach: Okinawa Marine Safety Portal**  
The site provides comprehensive guidelines for safely enjoying the sea in Okinawa, including safety tips, precautions for various activities, and how to respond in case of an emergency.

**In Case of Emergency**

**How to Respond When You See Someone Drowning**

If you see someone drowning, seek help from a nearby lifeguard, lifeguard, or person around you. Additionally, call the emergency contact numbers to request a rescue.

- Japan Coast Guard TEL 118
- Police TEL 110
- Fire Department (Ambulance) TEL 119

**Three Key Points to Protect Lives from Sea Accidents**

- Point 01** Always wear a life jacket when enjoying marine activities.  
Wearing a life jacket can be a crucial factor in determining life or death if you fall into the water.
- Point 02** Ensure you have a means of communication, such as a waterproof roof-packed mobile phone. Also, use the location services on your smartphone enabled so you can accurately share your location.
- Point 03** Utilize 118 and NET118.  
For maritime emergencies, call the Japan Coast Guard at 118. For individuals with hearing or speech difficulties, use the emergency reporting service NET118.

**Know for Peace of Mind and Safety!**  
**All About the Sea in Okinawa**

The sea in Okinawa, surrounded by coral reefs, offers a variety of marine activities and is also suitable for family outings and swimming with children. However, when engaging with the natural environment of the sea, there are precautions to keep in mind. Be sure to check the necessary information to enjoy the sea in Okinawa safely.

**Okinawa Marine Safety**

For general inquiries about this initiative, please contact the Marine Leisure Activity Prevention, Inspection and Countermeasures Project Office at Okinawa Prefectural Government (tel. 098-970-0000).

図 35 リーフレット英語版 表面

**Things to Check Before Playing at the Beach**

**Tip 01**  
If you would like to swim, choose a beach with a lifeguard!  
Always wear a life jacket when enjoying marine activities. Wearing a life jacket can be a crucial factor in determining life or death if you fall into the water.

**Tip 02**  
Do not enter the ocean at beaches without lifeguards; just enjoy the view!  
If you are feeling unwell, stay out of the water. Instead, take a relaxing stroll along the beach or enjoy some photography.

**Tip 03**  
Use designated swimming areas and marine leisure operators!  
To safely enjoy marine activities in Okinawa, make sure to use designated swimming areas and reputable marine leisure operators. If you absolutely cannot find a marine leisure operator and must engage in activities at an unsupervised beach, be sure to check the beach safety information, the weather for the day, and necessary equipment.

**Marine Leisure Safety Certified Operator**

The Marine Leisure Safety Certified Operator system is the Okinawa Prefecture Public Safety Commission's certification system for marine leisure operators that meet safety standards. Choose an operator with the certification.

**Marine Leisure Tips**

Here are some important considerations and preparations to keep in mind when enjoying activities like swimming, snorkeling, canoeing, surfing, and SUP in Okinawa's waters.

**Swimming Tips**

There have been drowning and suffocation incidents often caused by swimming at unmanaged hazard beaches and by alcohol consumption.

- ✓ Swim at managed beaches
- ✓ Parents should always keep an eye on their children
- ✓ Do not consume alcohol while swimming
- ✓ Avoid swimming on days with high waves or strong winds

**Snorkeling Tips**

Accidents such as drowning have increased due to a lack of basic skills. Always wear a life jacket.

- ✓ Always use the "4-piece set" (\*Mask, fin, snorkel, life jacket)
- ✓ Learn how to properly use the basic equipment
- ✓ Enjoy snorkeling with a professional operator
- ✓ Do not snorkel alone

**Canoeing Tips**

Accidents such as getting caught in bad weather or getting lost due to insufficient weather and sea conditions checks, and a lack of basic skills.

- ✓ Check weather and sea conditions in advance
- ✓ Ensure you have a reliable means of communication on the water
- ✓ Learn basic techniques needed in case of capsizing
- ✓ Canoe in groups

**Surfing Tips**

There is a risk of encountering bad weather or getting injured due to insufficient weather and sea conditions checks or circumstances.

- ✓ Check weather and sea conditions in advance and do not take unnecessary risks
- ✓ Ensure you have a reliable means of communication on the water
- ✓ Learn the basic techniques for safe surfing
- ✓ Avoid surfing alone, surf with friends

**SUP Tips (Stand-Up Paddleboarding)**

SUP is particularly susceptible to wind, and many accidents occur when people are overtaken by strong winds and cannot return.

- ✓ Check weather and sea conditions in advance (\*pay special attention to wind strength and direction)
- ✓ Beginners should learn basic techniques through a school
- ✓ Ensure you have a reliable means of communication on the water in case of emergency
- ✓ Avoid paddling alone, paddle with friends

図 36 リーフレット英語版 中面

**바다 물놀이 전에 확인해 두어야 할 것**

간접한 바다 물놀이를 위해서는 사전 정보 수첩이 중요합니다. 배수욕장에서 수영을 하거나 물 경우는 사전에 지사서 품에 있어 물에 끌려가 있는 해수욕장 치안정보를 확인해 주세요.

**바람**  
풍향과 바람의 세기(풍속) 등 풍이 물놀이 위험성이 있는지 등을 확인합니다.

**파도**  
파도의 높이(안전 미합니) 조작(조수의 칸막, 민조와 같은 시각) 등을 확인합니다.

**날씨-기온**  
날씨, 기온, 강수 확률 등을 확인합니다.  
태풍이 다가오고 있는 경우는 태풍의 위치 정보 등도 체크합니다.

오키나와는 혼수보더 대를 입을 수가 많아 큰 피해를 초래할 수도 있습니다. 태풍이 작렬할 때뿐만 아니라 그 전후도 위험할 수 있음을 인지해 주세요.

위험한 장소 제보  
**오키나와 마린 세이프티 앱**  
오키나와현의 해변을 위해 청소와 피겨 수난사고 정보를 제공하고 있습니다.  
연방한 사전 선정 및 주민사항 확진에 활용해 주세요.

바다를 안전하게 즐길 수 있는 자세한 정보 사이트  
**오키나와 마린 세이프티 포털**  
오키나와의 바다를 안전하게 즐기기 위한 주민사항 및 해양을 확인사항, 안전의 경계에 대한 내용 등을 자세하게 정리되어 있습니다.

**만일의 경우에는**

**물에 빠진 사람을 발견했을 때의 대처법**

물에 빠진 사람을 보면 근처에 있는 안전요금이나 마리포 세이버, 주위 사람 등에게 도움을 요청해 주세요. 또, 긴급경락과의 연락을 걸어 구조를 요청해 주세요.

- 해상보안청 TEL 118
- 경찰서 TEL 110
- 소방서(구급차) TEL 119

**해상 사고로부터 생명을 지키는 3가지 포인트**

**Point 01** 수상레저를 즐길 때는 구명조끼를 상시 착용한다.  
바다에 파도를 대는 구명조끼의 작은 예부가 생사를 가르는 요소가 될 수 있습니다.

**Point 02** 방수팩에 넣은 휴대폰 등 연락수단을 확보해 둔다.  
맞수 파도 또는 밤수역에 걸친 휴대폰은 절대 터치를 해선 안됩니다. 또, 위치를 정확하게 알릴 수 있도록 스마트폰 위치정보는 ON으로 설정합니다.

**Point 03** 118번 및 NET 118을 활용한다.  
바다에서 발생하는 사전사고 진급신고를 전해 '118' 및 경찰이나 방화대 등에게 있는 분을 적은 긴급신고 서비스 'NET 118'로 해상보안청에 연락합니다.

**알아두면 안심·안전!**  
**오키나와 바다에 관한 것**

図 37 リーフレット韓国語版 表面

**바다 물놀이 전에 확인해 두어야 할 것**

**주의사항 01**  
**구명조끼를 착용합시다!**  
수상레저를 즐길 때는 구명조끼를 상시 착용합니다. 바다에 빠졌을 경우 구명조끼의 학을 예부가 생사를 가르는 요소가 될 수 있습니다.

**주의사항 02**  
**건강이 좋지 않을 때는 바다에 들어가는 것은 삼각시다.**  
한국인이 즐기지 않는 바다에 들어가는 것은 살기고 해변 청소이나 사전출장을 하며 여유롭고 관찰하게 즐기도록 합니다.

**주의사항 03**  
**해수욕장이나 수상레저사업자를 이용하도록 합니다!**  
모든 해변에서 안전하게 수상레저를 즐기기 위해서는 해수욕장이나 수상레저사업자를 이용합니다.

**마루유 사업자\***

마루유 사업자는 안전대책기준을 충족시켰다고 인정하는 수상레저사업자를 오키나와현 공한마루유가 지정하는 최고입니다. 이 자격서를 가진 사업자를 선택합니다.

**수상레저사 주의사항**

오키나와 바다에서 해수욕, 스노클링, 카누, 서핑, SUP 등을 즐길 때 주의해 둬야 할 것 및 어떤 준비를 해 주면 좋으지를 소개합니다.

② 해수욕사 주의사항

해수욕장 이용 권리되고 있지 않는 자연 해변에서 수영이나 출수로 인한 위험 및 표류 사고가 발생하고 있습니다.

- ✓ 관리되고 있는 해수욕장에서 수영할 것
- ✓ 보호자들은 항상 아이들에게 눈을 뗐지 말 것
- ✓ 해수욕을 할 때는 음주를 하지 말 것
- ✓ 파도가 높거나 바람이 많이 부는 날에는 수영을 하지 말 것

③ 스노클링사 주의사항

기본적인 기술이 숨되어 있지 않아 물에 빠지는 사고 등이 증가하고 있습니다. 구명조끼를 단도시 착용하도록 합니다.

- ✓ 4종 세트\*를 반드시 사용할 것  
(A 마스크, B 스노클, C 구명조끼)
- ✓ 기본적인 장비 사용법을 습득해 둘 것
- ✓ 스노클링 사업자를 이용할 것
- ✓ 단독 행동은 하지 말 것

\*SUP는 특히 바다의 영향을 받기 쉽고, 강한 바람에 미내리가 풀어질 수 있는 사고가 많이 발생합니다.

**카누사 주의사항**

기상 및 파상 경보 확인 부족으로 비비행에 흥얼거리거나 기운 스티어 금속대에 있지 않아 조난 등의 사고가 발생하고 있습니다.

- ✓ 기상 및 해상 정보를 사전에 확인할 것
- ✓ 해상에서 유효한 연락수단을 확보해 둘 것
- ✓ 전복되었을 때 필요한 기본 기술을 습득해 둘 것
- ✓ 여러 대의 카누가 함께 행동할 것

**서핑사 주의사항**

기상 및 파상 경보 확인 부족으로 비비행에 흥얼거리거나 후후대로 칸해 대로 치웠습니다.

- ✓ 기상 및 해상 정보를 사전에 확인하고 무리하지 말 것
- ✓ 해상에서 유효한 연락수단을 확보해 둘 것
- ✓ 안전하게 즐기기 위한 기본 기술을 습득해 둘 것
- ✓ 단독 행동은 삼가고 일행들과 함께 행동할 것

**SUP사 주의사항 (스탠드업 패드 보드)**

SUP는 특히 바다의 영향을 받기 쉽고, 강한 바람에 미내리가 풀어질 수 있는 사고가 많이 발생합니다.

- ✓ 기상 및 해상 정보를 사전에 확인할 것  
(예: 특히 바다의 세기와 방향이 요주의)
- ✓ 보호자들은 스쿨에서 필요한 기본 기술을 습득해 둘 것
- ✓ 만일에 대비하여 해상에서 유효한 연락수단을 확보해 둘 것
- ✓ 단독 행동은 삼가고 일행들과 함께 행동할 것

図 38 リーフレット韓国語版 中面

### 在海域遊憩前的注意事項

為了安全地在海域遊憩，請務必留意以下注意事項。  
如果您要在海水浴場游泳時，請務必至地方政府網站等查看公告的最新海水浴場資訊。

- 海風**  
參考面向、風力（風速）以及是否有突然刮強風的風險等資訊。
- 海浪**  
參考浪高（凸岸逆浪）和潮汐（漲退潮落、高潮和低潮的時間）等資訊。
- 氣象預報**  
查看天氣、氣溫和海面溫度等資訊。  
如要到離島去旅行，請查詢該離島的最新資訊。

在沖繩附近的颱風數量比日本多，且可能會帶來嚴重的災害。請注意，不只有颱風危險時有危險，颱風過後後也存在危險。

**海底地形的確認**  
**沖繩海域安全地圖**

該地圖顯示了沖繩各處的海岸線與水深資訊。  
請隨時上網確認安全地點與潛水深度等相關資訊。



**安全地圖與海上休閒之資訊與規範**  
**沖繩海域安全入口網站**

這裡有各處受許可經營海上休閒的資訊，  
每項地點說明的注意事項和第一點狀況的  
對外諮詢窗口資訊。



### 萬一發生狀況時

#### 發現有人溺水時的處理方法

如果您發現有人溺水，請立即通知管理員、救生員或周圍的人們尋求協助。  
或使用緊急聯絡電話請求救援。

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 海上保安廳</li> <li>• 警察署</li> <li>• 消防署（救護車）</li> </ul>	TEL 118 TEL 110 TEL 119
--	-------------------------------

#### 遠離海上事故保障生命安全的3大重點

- 重點 01 在享受海上休閒活動時，請務必穿著救生衣。**  
避免危險增倍，請穿著救生衣會是決定生死的要素。
- 重點 02 請使用手機防水袋等，確保手機通訊正常。**  
請將身攜的手機放入防水袋中；另外，請確認智慧型手機的位置資訊，以利正確選擇您的所在位置。
- 重點 03 請善用緊急報警專線118 或NET118。**  
請撥打海上意外事故的緊急報警專線118，或利用觸控螢幕和救援行動裝置等向緊急救援服務、與日本海上保安廳聯繫。

**深入了解才能玩得安心又安全！  
沖繩海域的知識**





沖繩海域召開珊瑚礁巡視，可以更愛各種海上活動的樂趣。  
也適合帶孩子在海域遊憩或海中游泳等。  
但是，在大海的自然環境中遊憩時，請務必注意安全，  
請確實所學的資訊，以安全地享受沖繩海域的樂趣。

図 39 リーフレット繁体語版 表面

### 在海域遊憩前的注意事項

- 重點 001**  
請穿著救生衣。

在享受海上休閒活動時，請務必穿著救生衣。  
如果您掉進海裡，若忘記穿著救生衣，請會因爲受到水流而喪失光。

- 重點 002**  
如果您感到身體不適，  
請勿下海遊玩。

如果您感到身體不適，請勿下海遊玩，選擇在海邊散步或日光浴等。

- 重點 003**  
請選擇海水浴場或海上休閒活動營業者！

為了在沖繩安全地享受海上休閒活動的樂趣，請選擇海水浴場或海上休閒活動營業者！

如果您找不到任何海上休閒活動營業者，又想要在沒有管理員的海灘或商業海上休閒活動時，請務必查看海灘的安全資訊，當天的天氣以及所需的裝備。

**「優良業者」**



「優良業者」為一種制度認定，由沖繩縣公務委員會認可之符合安全評價標準的海上休閒活動營業者，請選擇有此項鑑定書的營業者，以確保自身安全。

### 海上休閒活動須知

介紹在沖繩海域中享受海上游泳、浮潛、划獨木舟、衝浪、SUP等休閒活動的基本事項和必要物品。



#### 2. 海中游泳須知

因海水域以外之旅人會游的大自然的海域游泳，或屬危險的野生游泳或海上游泳事故。

- ✓ 請選擇有人員管理的海水域游泳
- ✓ 父母應隨時注意小孩的安全
- ✓ 要在海中游泳時不喝酒
- ✓ 在有大浪或強風的日子不下海游泳。

#### 3. 浮潛須知

因為學習浮潛基本技巧也會因海水深度的發生，請務必穿著救生衣。

- ✓ 請務必使用「浮潛4件組」  
（\*面鏡・呼吸管・呼吸管・救生衣）
- ✓ 學會浮潛基本裝備的使用方法
- ✓ 選擇浮潛營業者享受浮潛樂趣
- ✓ 無單獨行動

#### 4. SUP須知 (立泳)

因SUP對於初學者來說具有一定的難度，所以經常發生誤判與失敗的原因。

- ✓ 請事前查看氣象和海象。  
(\*請勿在氣象惡劣時進行SUP)
- ✓ 初學者需在學校學習所需的SUP的基本技術
- ✓ 為了以防萬一請確保在海上手機通訊正常
- ✓ 請勿單獨行動，建議要和朋友一起行動

図 40 リーフレット繁体語版 中面

## 9) カード 【継続・更新】

ホテルやレンタカー等のカウンターにおいて、場所をとらず配布が用意かつ安価な名刺サイズのカードを作成した。

表 14 カードタイプのツールの概要

目的	・ ホテルやレンタカー等のカウンターにて設置し、各種ポータルサイトへの導線を掲載した名刺サイズのカードを作成した。
設置場所	・ ホテルやレンタカー等のカウンターに設置を依頼した。
サイズ・仕様	・ 名刺サイズのカード（両面印刷）
対応言語	・ 日本語を表面、英語を裏面に記載
設置依頼枚数	・ 約 11 万部設置
配布依頼箇所数	・ 約 67 か所設置
実施時期	・ 令和 6 年 5 月より順次設置を依頼
主な掲載内容	<p>※数パターン作成・設置しているが主に以下の内容を掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クイズに答えて沖縄の海を安全に楽しもう ⇒特設クイズサイトへの導線を設置</li> <li>・ マリンセーフティポータルへの導線</li> <li>・ 沖縄の海を安全に楽しむための 3 つの心得</li> </ul>



図 41 カードタイプのツール

## 10) エコバック・ハンドタオル 【新規】

空港等でのイベントを想定して、エコバックやハンドタオルを制作した。受け取ってもらいやすいよう実用性のあるツールとした。

表 15 エコバック・ハンドタオルの概要

目的	・空港イベントにて配布するためのエコバック、ハンドタオルを制作した。
配布場所	・那覇空港等における水難事故防止イベントにて配布
サイズ・仕様	・エコバックタイプ ・ハンドタオルタイプ
多言語言語	・英語、韓国語、繁体字に対応している。 ※繁体字、韓国語は今年度事業にて作成した。
配布枚数	・各 700 部配布
実施時期	・令和 6 年 4 月下旬より 2 回使用
主な掲載内容	・ライフジャケットの着用を主なメッセージとした。



図 42 エコバック・ハンドタオル

## 工. 周知啓発の方法

前述した海の安全啓発ツールを活用し、WEB・SNS広告等による旅行計画時「旅マエ」の周知から、飛行機内や空港、レンタカー、ホテル等の観光関連施設に協力のもと実施した著効中「旅ナカ」の周知を展開した。各周知啓発の方法を以下に示す。

表 16 旅行計画時「旅マエ」の周知

周知方法	内 容
①リストティング広告 (WEB キーワード広告)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検索エンジン (Google、Yahoo!) にて、「海 沖縄」等の関連する語句を入力したユーザーに対して検索上位に表示する広告である。</li> <li>・本周知広報では沖縄の海を楽しむと想定される属性ならびにキーワードを設定し出稿した。</li> <li>・通年を通じて実施した。</li> </ul>
②SNS 広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Facebook、Instagram の SNS にて、県外居住者のうち、海やマリンレジャーに興味のある層に対して、出稿を行った。</li> <li>・夏季期間にて実施した。</li> </ul>
③関係者の HP、SNS による周知協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の DMO、地域観光協会、自治体やマリンレジャー事業者に協力いただき、各団体の web サイトや SNS にて周知を行った。</li> </ul>
④旅行雑誌への掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行雑誌「るるぶ沖縄」にて、沖縄の海を安全に楽しむための方法を出稿した。</li> <li>・令和 6 年 12 月に発行した。</li> </ul>

表 17 旅行中「旅ナカ」の周知

周知方法	内 容
①フライト・空港における周知協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フライトについては JTA に協力いただき、機内における動画放映、リーフレットの配架を行った。</li> <li>・空港については那覇空港、宮古空港、下地島空港、石垣空港にて館内におけるポスター掲示やデジタルサイネージ等を行った。</li> <li>・通年を通じて発信した。</li> </ul>
②ホテル、レンタカー等の観光施設や交通結節点における周知協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客のタッチポイントであるホテルやレンタカー、マリンショップ等の観光施設や港湾やバスターミナル等の交通結節点にてリーフレットやカード、ポスターの設置を行った。</li> <li>・通年を通じて設置・配布を依頼した。</li> </ul>